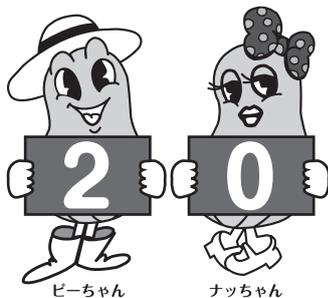


# 市議会だより



## よ〜いドン

10月6日(土)に市内市立保育園(6園)で運動会が行われました。みんな元気いっぱいです。  
(写真=二州第一保育園)



市制施行 20 周年

主な内容

## 9月定例会

- 新しい議会構成・提出議案の主な内容 —— 2~3P
- 一般質問(代表4人・個人15人) —— 4~15P
- 議長・副議長の出席報告等 —— 15P
- 審議された議案と結果 —— 16P

# ≡≡≡ 議会の新体制が決定 ≡≡≡

9月定例会において鯨井眞佐子議長、湯浅祐徳副議長の辞職による正副議長の選挙が行われました。

議長に中田眞司議員、副議長に小高良則議員が就任



## 中田眞司 議長

昭和 24 年生  
誠和会所属  
平成 15 年初当選  
現在 3 期目



## 小高良則 副議長

昭和 36 年生  
誠和会所属  
平成 19 年初当選  
現在 3 期目

### 《就任挨拶》

私たちは、この度の9月定例会におきまして、議員の皆様のご推挙により、議長並びに副議長に就任することとなりました。

現下の厳しい社会状況の中、財源の確保、健全な財政の支出がなされるよう慎重に審議してまいります。

皆様のいっそうのご支援、ご協力をお願い申し上げまして、就任のあいさつといたします。

### 議会運営委員会

委員長 加藤 弘  
副委員長 湯浅祐徳  
委員 右山正美  
" 鯨井眞佐子  
" 川上雄次  
" 山口孝弘  
" 林 修三  
" 石井孝昭

### 総務常任委員会

委員長 林 修三  
副委員長 湯浅祐徳  
委員 丸山わき子  
" 加藤 弘  
" 鯨井眞佐子  
" 古場正春  
" 中田眞司

### 文教福祉常任委員会

委員長 山口孝弘  
副委員長 石井孝昭  
委員 京増藤江  
" 新宅雅子  
" 桜田秀雄  
" 木村利晴  
" 小山栄治  
" 服部雅恵

### 経済建設常任委員会

委員長 川上雄次  
副委員長 林 政男  
委員 右山正美  
" 小高良則  
" 小菅耕二  
" 鈴木広美  
" 長谷川健介

# 意見書を県に提出しました!

## 富里特別支援学校過密化解消および整備に関する意見書

八街市の児童生徒約90名が通っている富里特別支援学校の教室不足、いわゆる過密化の状況は県内でも1、2位を争うものです。

北総地区の富里特別支援学校については「整備計画」の中で明瞭かつ具体的な改善策は盛り込まれておらず、過密化解消に向けた展望が見えてきていない現状であります。

そこで以下2点について要望いたします。

1. 富里特別支援学校の過密化を解消し、児童生徒の障がい特性の多様化に応じた教育環境を保障してください。
1. 抜本的な対策として、当該学校と八街からの就学の実情に応じた分校・分教室・新設校の設置を再度検討してください。

(一部抜粋)

# 9月定例会

## 提出議案の主な内容

平成24年9月定例会は、9月3日に開会され、議案16件、議員提出議案1件が提出され審議されました。  
 (紙面の都合上、議案の内容の一部を掲載します)

### 人事

◆固定資産評価  
 審査委員会委員の選任

○大谷流 347番地  
 日暮 俊 幸氏

◆教育委員会委員を任命  
 ○大木 672番地107  
 大西 昭氏

○八街は12番地2  
 山崎 正子氏

### 予算

◆一般会計補正予算

○地域が自主的に行うコミュニケーション活動に対し、その育成を図るため助成します。  
 (2千100万円)

○難聴児の健全な言語、社会性の発達を支援するため、補聴器の購入費用の一部を助成します。(10万8千円)

○ポリオの定期接種ワクチンを「生ポリオワクチン」から「不活化ポリオワクチン」に切り替え、より安全な予防接種を実施し、ポリオの根絶に取り組みます。  
 (1千805万7千円)

○子ども医療費の申請手続きの軽減を図るため、病院等の窓口での支払が一定の自己負担となる「現物給付」方式の対象年齢を中学校3年生まで引き上げ、受診しやすい環境を整えます。  
 (289万2千円)



▲子ども医療費助成受給券

○住宅太陽光発電設備の導入促進のため、設置費用の一部を助成します。(210万円・既定予算と合わせて630万円)

○安全で安心なまちづくりを推進するため、防災備蓄倉庫に発電機や投光器等を設置します。(284万3千円)

○児童・生徒に対する防災に関する教育や被災地での防災ボランティア活動を支援し、学校における実践的な防災教育の充実を図ります。  
 (187万6千円)



▲八街中学校生徒による宮城県塩釜市ボランティア活動

○道路環境を整えるため、市道の舗装修繕等を行います。(2千万円・既定予算と合わせて2億7千682万1千円)

○道路隣接地への溢水を防ぐため、市道の道路排水施設を整備します。(1千万円・既定予算と合わせて3千500万円)

○都市計画図の修正・電子化を行い、適正な都市計画行政の推進を図ります。  
 (3千202万5千円)

### 選挙管理委員会委員

◆選挙管理委員会委員の任期満了に伴い、議長の指名推薦により、新たに委員4人、同補充員4人を選出しました。

○委員

・八街ほ 鴨志田 正夫氏  
 ・文達 加瀬 昭氏  
 ・大谷流 北村 一夫氏  
 ・四木 田上 明男氏

○補充員

・八街ろ 中村 和雄氏  
 ・八街は 佐藤 邦弥氏  
 ・八街に 長谷川 嘉男氏  
 ・八街へ 篠宮 和夫氏

### 千葉黎明高等学校と避難所施設利用に関する協定を締結



学校側からご提案をいただき災害などが発生した際に、校内写真にある合宿所や体育館に避難者を受け入れていただけるものです。

◀千葉黎明高等学校合宿所

## 決算審査特別委員会を設置

平成23年度八街市一般会計・特別会計(国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、学校給食センター事業、下水道事業)及び水道事業会計の会計決算を審査するため決算審査特別委員会を9月定例会において設置し、10月2日から4日までの3日間審議しました。



委員長	石井 孝昭
副委員長	林 修三
委員	右山 正美
〃	加藤 弘
〃	川上 雄次
〃	木村 利晴
〃	小菅 耕二
〃	服部 雅恵

# 市政を問う！

一般質問は、市の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、見解を求めるものです。9月定例会の一般質問は9月5日(水)、6日(木)、7日(金)の3日間に19名の議員が質問しました。(ここでは紙面の関係で、その一部を要約して掲載しています。)

## 代表質問

### 広域行政を問う

やちまた21 林 政男



#### 八富成田斎場

**問** 利用状況と改築、新設の計画。また、次期建設場所は富里市が妥当では。

#### 市長

平成23年度の八富成田斎場の使用件数は、火葬2千262件、式場1千222件で、使用料収入は火葬が1千83万円、式場が3千636万5千円です。オープンしてから20年近くが経過していますが、経年劣化は見られるものの、安心して使用できる施設となっています。現時点では、改築及び新設の計画はありませんが、火葬炉は、修繕計画等に基づいて修繕しており、空調機などは、定期点検の中で必要があれば実施しています。新たに斎場を建設する必要性が生じた時は、設置場所等について、八富成田斎場管理運営連絡協議会で協議したいと考えています。

#### 千葉県総合防災拠点

**問** 八街市を含めた5市が誘致に名乗りをあげているが、状況は。

#### 市長

老朽化した消防学校、防災センターの建て替えとあわせ、災害時の広域応援活動拠点としても活用できる「総合防災拠点」の整備を検討する中で、本年3月に各市町村宛てに候補地の照会がされました。本市では、現時点では市有地等、具体的な候補地は有していないものの、県北部のほぼ中央に位置し、交通アクセスに優れていること、また、災害に強い地域であることから、消防学校の立地に適した地域であるので、本市への設置が具体化されれば、民有地の活用について積極的に協力する旨の資料を提出し、改めて誘致の意思を示したところです。

#### 成田鉄道八街線の復活

生夷隅保健医療圏における地域完結型の中核病院を目指し、地域の救急医療の拠点として、重篤救急患者を24時間、365日受け入れる救命救急センターを併設する予定と聞いています。財政支援は、関係市町村で足並みをそろえることが必要と考えますので、関係市町村の動向を見ながら対応したいと考えています。

#### 成田鉄道八街線の復活

**問** 構想の進捗状況は。

#### 市長

富里市において、市職員10人で構成する「富里市新アクセス構想研究会」を立ち上げ、平成25年度末をめどに、他の公共交通の可能性も含めて調査・研究を行っていくとのことであり、これまで関係市町の現状把握調査や9回の研究会を開始したと聞いています。今年1月には、富里市研究会職員4名が本市を訪れ、八街市における公共交通の現状や成田空港との関連等について、聞き取り調査を行っています。今後も研究会の状況を把握しつつ、可能な範囲で協力したいと考えています。

#### 東千葉メディカルセンター

**問** 東金市・九十九里町が建設中の東千葉メディカルセンターへの対応は。

#### 市長

東千葉メディカルセンターは、山武長

#### 市長

酒々井のアウトレットモール開設に伴う新設の署、また、出張所の新設計画はあるのか。

組合によると、消防署の設置数は、国が定める消防力の整備指針により、当該市街地の人口により決定されるものであり、物品販売店舗数により設置することはないとのこと。八街地区の消防署新設は、人口が減少傾向であること、八街消防署の増改築により機能の充実を図っていることなどから、今後の推移を見ながら検討したいとのことでした。他市町村でアウトレットモール開設に伴い、消防署を設置したところはないと伺っています。

#### 佐倉市八街市酒々井町消防組合

**問** 現在の装備体制及び人員配置は。

#### 市長

平成24年4月1日現在で、消防ポ

代表質問

暮らしを守る市政運営を

日本共産党 右山 正美



消費税増税・TPP対応は

消費増税・TPP対応は

消費増税は国民多数の反対の声を無視し、民主・自民・公明の密室談合によって合意され、国会で強行採決されました。市民に与える影響、自治体への影響をどのように考えるか。また、国民の6割以上が増税反対である。国に実施しないよう申し入れるべきと思うが如何か。

毎日新聞の世論調査では92%の人が暮らしに影響があると答えています。自治体の配分等について不透明な部分も多いことから、市長会を通じて要望活動とともに国県の動向を注視していきたい。全国市長会6団体から低所得対策の要望書を出しました。

市長

毎日新聞の世論調査では92%の人が暮らしに影響があると答えています。自治体の配分等について不透明な部分も多いことから、市長会を通じて要望活動とともに国県の動向を注視していきたい。全国市長会6団体から低所得対策の要望書を出しました。

の見解を伺う。

市長

千葉県は1千300億円、依然として国の説明は十分であり国民に情報提供を要望していきたい。

来年度予算について

民主党政権のもと、経済や雇用は一向に改善されず、国民には税と社会保障の一体改革を進め、貧困と格差は拡大し続けています。こうしたもので、市民のいのち・暮らし・農業や地域経済を守りどう発展させるか、市の果たす役割は大変重要です。来年度の予算編成を伺う。

市長

民主党政権のもと、経済や雇用は一向に改善されず、国民には税と社会保障の一体改革を進め、貧困と格差は拡大し続けています。こうしたもので、市民のいのち・暮らし・農業や地域経済を守りどう発展させるか、市の果たす役割は大変重要です。来年度の予算編成を伺う。

市長

予算全般について、限られた財源を重点的、効果的に配分する施策精選型として、通年型の予算の編成としたい。

税徴収のあり方について

憲法は所得の低い人には軽く、高い人には重く、能力に応じて負担するように求め、最低生活には税金をかけないことを定めており、市の税務職員に徴収にあたっては「慎重の上にも慎重を期する」とが当然の前提だが、市はどういう配慮のもと徴収をしているのか。

市長

最終日曜日、毎週火曜日夜8時まで納税相談窓口を開設し、個々の状況を把握しながらその対応に努めています。納付するに十分な所得のある滞納者にあつては徴収強化を図っていきます。

重の上にも慎重を期するところが当然の前提だが、市はどういう配慮のもと徴収をしているのか。

市長

最終日曜日、毎週火曜日夜8時まで納税相談窓口を開設し、個々の状況を把握しながらその対応に努めています。納付するに十分な所得のある滞納者にあつては徴収強化を図っていきます。

市長

長引く不況の下、経済悪化・病弱などで市民の担税力は弱っている。財政を確保することは大事だが、差し押さえなど滞納者への徴収強化だけでは問題。税の徴収にあたって減免要綱も活用し懇切丁寧な対応をすべきである。

再質問

長引く不況の下、経済悪化・病弱などで市民の担税力は弱っている。財政を確保することは大事だが、差し押さえなど滞納者への徴収強化だけでは問題。税の徴収にあたって減免要綱も活用し懇切丁寧な対応をすべきである。

副市長

きめ細かな市民協力をお願いして、税収確保に努めたい。

市長

評価については多くの方々にご利用

経済対策について

住宅リフォーム助成制度が実施され、その経済波及効果は約16倍。この状況をどう受け止めているのか。

市長

住宅リフォーム助成制度が実施され、その経済波及効果は約16倍。この状況をどう受け止めているのか。

していただき、この助成制度により大きな経済効果があったと認識している。

市長

今後助成金の確保で、経済活性化への取り組みが必要であるが如何か。

市長

執行状況を見ながら判断してまいりたい。要望が多い場合には財政状況を踏まえ、12月の補正で検討したい。

市営住宅について

市営住宅の耐震化をどのように考えているのか。県は2015年までに高齢者向けの住宅を6倍の9千戸拡大をする方針であるが、市の高齢者住宅の計画は如何か。

市長

高齢者向け住宅を含め、マスタープランの見直しを含め検討をしていきたい。九十九路・長谷団地の耐震性はあり、他6団地について耐震診断を検討したい。

市長

入居について伺う。入居手続きの簡素化と、困った人は誰でも入れるよう改善を求めるが如何か。

市長

入居について伺う。入居手続きの簡素化と、困った人は誰でも入れるよう改善を求めるが如何か。

かに入居できるように手続きの簡素化を検討していきたい。入居基準については市税の滞納者でないことが資格要件と考えています。

市長

福島原発の事故以来、原発に頼らない自然エネルギーへの関心が高まり、その取り組みが各自治体で始まり、地域の活性化と同時に雇用促進にもつながっている。市も夢と希望の持てるまちおこしを考えてはどうか。そのためのプロジェクトチームを立ち上げては如何か。

自然エネルギー活用で地域の活性化を

福島原発の事故以来、原発に頼らない自然エネルギーへの関心が高まり、その取り組みが各自治体で始まり、地域の活性化と同時に雇用促進にもつながっている。市も夢と希望の持てるまちおこしを考えてはどうか。そのためのプロジェクトチームを立ち上げては如何か。

市長

地域の活性化を図ることは重要と考えていますが、プロジェクトチームの立ち上げは考えていません。

市長

太陽光の助成は3か月間で予算がなくなり、市民の自然エネルギーへの関心が高いことが分かる。申請した人すべてが制度を利用できるようにすべきであるが如何か。

市長

執行状況をみながら12月補正で対応したい。

代表質問

市長の任期折り返し後の市政重点策と活力あふれるまちづくりについて

誠和会 林 修三



市民と共にまちづくり

**問** 北村市長任期後半への重点的な取り組みについて伺う。

**市長** 八街バイパスの早期全面開通

酒々井インター周辺地域における渋滞緩和対策及び八街幹部交番の警察署昇格の3事業は、山本千葉県議会議員、そして八街市議会議員のお力添えを頂きながら、引き続き国・県に対する要望活動を粘り強く行ってきたと考えています。平成25年度から実施を予定している朝陽小学校校舎改築工事や平成26年度の秋に着工を予定している榎戸駅東口整備工事、また八街駅北側地域などの冠水対策として期待される大池第三雨水幹線整備工事など、これらの事業や工事が確実に実現できるように、準備したいと考えています。

なお、耐震不足が懸念されている八街東小学校、川上小学校、交進小学校及び八街中学校、4校5棟の耐震補強工事も、平成26年度中の夏休みを利用して、国庫補助事業として実施する

こととしました。

限られた予算の中、掲げた公約全てを同時に実現することは出来ませんが、創意工夫により経費をかけずに実現出来る施策もあると考えています。施策の優先順位や財政状況を見誤ることなく、着実に一歩ずつ前進したいと考えています。

再質問

市長公約の財政堅持は、八街市にとって大事な課題ですが、これまでに取り組んでいる市税等徴収対策本部の状況について伺う。

副市長

平成20年9月に副市長を本部長とする八街市税等徴収対策本部を設置し、全庁的な取り組みを進め、市税及び国民健康保険税の徴収対策の強化及び徴収率の向上を図ってきました。具体的には、夜間窓口の開設やコンビニ収納の強化、広報紙等を通じた納税意識の高揚

を、同滞納整理や悪質滞納者に対する財産差し押さえ等、徴収強化に努めました。こうしたことから、平成23年度の徴収率の実績は、市税、国民健康保険税とも現年度

分は、ここ5年間で最高の徴収率となりました。住み良いまちづくりを推進する上で、市税収の確保は極めて重要なことであり、引き続き対策本部を中心とした全庁的な取り組みを進め、きめ細かな対応に努めながら税収を確保したいと考えています。

再質問

地産地消の推進は、農業振興上大変重要なことで商工会なり、JAと連携して取り組んでもらいたい、そこで八街の「八」にちなんで八街エイトベジタブルの売り込みをマスコミやPRを使ってみたらどうか伺う。

経済環境部長

ピーちゃん・ナッチャんを活用して、八街産の四季折々の野菜をPRしています。この主要品目という8品目という形ですが、現在このキャラクターについて

は、ピーちゃん・ナッチャんを使用して八街の野菜を落花生とあわせてPRし、JAや商工会議所との連携を図りながら進めて行きたいと考えています。

再質問

近々オーブンプランの仮称トーンズ信号地先道路の渋滞が予想されるが、その解消に向けた動きはあるのか伺う。

建設部長

仮称トーンズ側に隅切り用地として3メートルずつを土地利用者から寄付いただくことになっています。隅切りの用地整備は、警察立ち会いのもと既設側溝の付け替えと車止めを設置し、横断歩道がありますので、人だまりを確保する計画となっており、完成後は車両の右折・左折について容易になるものと考えています。

子どもたちの教育環境の整うまちづくり

問

八街市教育振興基本計画策定について伺う。

教育長

教育基本法第17条第2項では、地方公共団体は国の定めた教育基本計画を参酌の上、地域の実情に応じた教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならないとされています。現在、市教育委員会としては、教育振興

委員会の委員として、教育振興



▲元スーパーすずこう地先交差点

基本計画は定めていませんが、今後検討したいと考えています。

再質問

法律の中でこの計画は作らなければならぬということであれば早期に作ってもらいたいと思いますが、再度伺います。

教育次長

中長期的視点に基づくとその必要性は十分認識しています。作成年度につきましては、ここでは申し上げられませんが、検討したいと考えています。

※その他の質問

- ◆市長の任期前半における公約の評価について
- ◆市政20周年記念産業まつりの農産物の促進活動について
- ◆八街市の道路渋滞箇所と解消計画について
- ◆活力ある教育委員会の取り組みの具体例について

代表質問

財政や市民サービスと  
街づくり施策を問う

公明党 川上 雄次



財政について

**問** 本市の財政計画について財源不足の状況と今後の財政計画について伺う。

市長

本市の財政計画でございませうが、昨年度策定いたしました平成28年度までの推計におきましては、将来5カ年での財源不足総額は39億2千588万3千円と推計しており、これまで以上の行財政改革を推進し、事務事業の見直しを図るため、今年度、行財政改革推進室を設置し、行政評価の手法も導入して、事務事業の見直しを進めております。

**問** 市税等の収納率の向上策など自主財源の確保への取り組みを伺う。

市長

自主財源の確保につきましては、根幹である市税徴収率の向上が重要であるとの認識のもと、市税等徴収対策本部を中心に、全庁的な取り組みを進めております。

問

自治体広告ビジネスへの取り組みについて伺う。

市長

市ホームページ バナー広告掲載 玄関マットへの広告掲載、庁舎内壁等や庁舎敷地内での広告掲載について検討しており、資産の有効活用、新たな財源の確保について積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

市民サービスについて

**問** コンビニにおける証明書等の交付については、近年はコンビニに設置されている、マルチコピー機の機能を活かして容易に事業化できるようになりました。そこで住民サービスの向上につながるコンビニや郵便局における証明書等の交付が推進できないか伺う。

**市長** コンビニにおける証明書等の交付については千葉県内では、現在、市川市・松戸市・木更津市が実施しております。交付は全てのコンビニでの実施ではなく、財源の確保の面からも実施は難しいと考えております。

問

6月議会にて要望した広報やちまたのコンビニ配布について進捗状況を伺う。

市長

現在、市内には39店舗のコンビニエンスストアが存在します。職員が各店舗を直接訪問して協力依頼したところ、36店舗から協力したい旨の回答をいただくことができ、各店舗へは「ゆうメール」で配布するため、1件当たり63円と経費的にも少ない負担で配布でき、既に今月の1日号から配布を開始したところでございます。

入札について

**問** 適正な工事施工と地元業者の活用、地元資材の優先使用への取り組みについて伺う。

市長

本市におきましては、八街市建設工事適正化指導要綱を定め、受注者に対し、建設工事の請負契約の適正化、適正な施工体制の確立、技術者の適切な配置等について指導しているところであり、平成24年4月1日には、八街市建設工事適正化指導要綱を改正し、「元請業者は、市内業者を優先して下請業者に選定するよう努めるとともに、建設資材は市内生産物を優先使用しよう努めるものとする」旨の条文を追加し、重ねて市内業者の活用を図ったところであります。

街づくりについて

**問** 軽トラ市について伺います。

軽トラ市とは軽トラックの荷台を店舗に見立てた朝市のことで、全国67カ所で開催されています。軽トラックの荷台の高さが商品陳列にちょうどよいこと。車で乗り付けて開店・撤収も簡単という手軽さ。産地直送のイメージ、出店する生産者のほとんどが軽トラを所有している事。また、対面販売が人気で新鮮で安心・安全なものを求める消費者ニーズに添えており、作った人の顔を見て直接買う魅力がある等々のメリットがあります。

市長

「軽トラ市」につきましては、その名の通り、軽トラックなどを使用し、新鮮な野菜や果物、加工品や特産品、花や植木などを荷台に乗せて販売する方法ですが、今回整備を行うとしていた公共核施設用地内に車両等が入つての「市(いち)」開催ができるか検討を進めるとともに、開催の要望がございましたら、関係団体等と協議してまいりたいと考えております。

問

文化的建物が建つまでの、八街駅北口、公共核施設用地の有効な活用策について伺う。

市長

公共核施設用地の有効活用については、市職員から提案を求めるなどして用地全体の有効活用について検討してまいりました。関係部課による検討を行った結果、区画整理事業地内の公共核施設用地としての位置付けであることにも配慮して、「市(いち)」を含む多目的な利用が望ましいとの結論であり、昨年度に開催しました「八街市内公共交通活性化に関する懇談会」などにおける意見にもありましたが、立地条件を鑑み、駅を中心とした公共交通の乗り継ぎの場所としての活用ができないものか、検討してまいりたいと考えております。

### 安全で安心な街づくりと義務教育の教育目標

古場 正春



### 個人質問

### 空き家対策の取り組みについて

桜田 秀雄



### 行政問題

**問** 何故、八街市は安全で安心な街づくりが出来ないのか。

### 市長

平成20年3月20日付けで、八街市安全で安心な街づくり条例を制定し同年4月1日から施行して、安全で安心なまちづくりの基本理念を明らかに、市、市民、自治会等及び事業者がともに協力しながら安全に、かつ安心して暮らせる地域社会の実現を図ることを目的にしています。市内における刑法犯認知件数は、関係団体のお力添えを頂いて平成15年の1千549件をピークに年々減少傾向にあり、23年度においては、1千39件まで減少しています。

### 教育問題

**問** 家庭、地域、関係機関との連携はどの様に取り組んでいるのか。

### 教育長

家庭との連携は、夏休みなどの休業中に安全パトロールを

実施したり、祭礼時に巡回を行ったりしています。地域や関係機関との連携は、児童・生徒の健全育成を目的に、小中高生徒指導連絡協議会を設置し、情報交換を年に3回、校外指導を年に2回実施しています。更に、小中学校区での各連絡会を年3回ほど実施したり、各連絡会の代表者及び小中高校の代表者等による八街つ子サポート連絡協議会において、地域ぐるみで青少年健全育成をより効果的に推進しています。

**問** 登下校時及び校内での安全対策はどのよう

**教育長** 登下校時の安全確保は、地域の見守り隊に協力を頂き、交通安全及び不審者対策を強化しています。学校では、最終下校時に職員が通学路のパトロールに出るようになっています。校内の安全については、登下校時以外は、門扉を閉めること、学校関係者の出入りに名簿への記帳を

行うこと、教職員の不審者対応訓練等の実施などに取り組んでいます。

**問** 八街市の義務教育は、どのような教育をしているのか。

### 教育長

八街市では、「豊かな心を持ち、夢を抱き、たくましく生きる幼児・児童・生徒の育成」という教育目標のもと、幼稚園、高等学校を含めての連携教育を行っています。特に義務教育では、1つ目に、基礎的・基本的学力を重視し個性と創造性を育む。2つ目に、幼小中高連携教育継続指導6項目により、規範意識を育てる。3つ目に、学校を地域に開き、地域と連携して豊かな人生・社会性を育てる。4つ目に、組織的な対応により不登校児童・生徒の解消を図る。という点に力を入れています。

◆非行問題の実態  
◆校舎の破損

### 空き家対策について

**問** 本市の空き家の現状について伺う。

### 市長

空き家の管理が不十分であると、不審者の出入りや放火など、防犯上問題があるほか、災害時の危険性もある。平成20年に国が実施した調査によると、八街市の総住宅数は2万8千370戸のうち空き家は3千660戸で率にして12.9%です。

### 再質問

築30年の家に住んでいる高齢者が、娘は嫁に行き、息子は東京でマンションを買った。「解体費用にもならない家なんていらぬ。」と言われる自分が死んだ後の我が家のことを心配されていた。所有者がいなくなった土地建物はどうなるのか。

### 総務部長

法的には、相続放棄は相続の開始を知った日から3カ月以内に家裁で相続放棄の手続きをしないと自動的に相続したことになります。

### 再質問

相続には遺贈と生前贈与がある。今住んでいる人が自分の死後、土地や建物が相続関係も含め一番良く知っている。(死後お世話になった近隣住民に迷惑をかけたくない)生前に行政に贈与できる制度をつくり、行政が管理処分する。これもひとつの方法と思うが如何か。

### 総務部長

双方の意思が合意に達すれば、そういうこともあるでしょうけど、行政側として、経費もかかるし、譲り受けることは考えづらいのではないかと。

### 再質問

例えば、土地50坪、建物は価値なし、土地坪5万円として250万円。解体経費150万円かかったとして100万円が残る。更地にして競売で処分すれば増収にもつながる。可能ではないか。大胆に発想を転換して、取り組むべきではないか。

### 総務部長

寄付については否定するわけではないが、必要性があるのかどうか、そういう判断は当然必要になるうかと。思う。

### 道路問題について

**問** 市道210号線について伺う。

### 市長

改修工事の概算額は概ね2億3千万円です。平成26年までに着手できるように鋭意努力します。

※その他の質問

◆市長の政治姿勢

・放射能測定器の貸出について

・ロイヤルパークタウンごみ集積所問題

・幹部職員の再教育について

### 教育問題

◆教育問題

・学校内での交通事故防止について

・車による児童送迎について

一区50号線拡幅準備へ

個人質問

道路問題

以前より、市道一区50号線の道路の整備をお願いしているところ...

誠和会 小高良則

教育問題

学校司書の配置を求めたいと考えています。...



個人質問

新たな公共交通対策、志ある若者を増やす施策について問う!

オンデマンド交通

近年、高齢化率の高まりや車の免許を持たない方の交通手段として...

誠和会 山口孝弘



立志式

幕末の頃の越前藩の橋本左内は、数え年15のときに「啓発録」という...

立志式とは

日本古来の成人式「元服」にあたる14歳、中学校2年生に志を立て、自分の生き方を見つめ、自分の第1歩を考え、大人への第1歩を踏み出す式のこと

※その他の質問

◆道徳教育の副読本として「13歳からの道徳教科書」を取り入れては。



小学校図書室

学校司書の配置を求めたいと考えています。...

再質問 国土交通省からオンデマンド交通の実施の自治体に対し...

再質問 協議会の中で、地域公共交通に関する総合的な連携計画の策定は、いつ頃を目標に策定していくのか。

# 財政健全化に向けた取り組みと 市防災計画の進捗状況について

個人質問

誠和会 石井 孝昭



## 財政健全化に向けた取り組み

**問** 平成20年9月に設置した市税等徴収対策本部により、成果が出てきているが、平成23年度の市税徴収状況について伺う。

**市長** 平成23年度の市税全体の調定額は、92億3千456万8千円、前年度と比較すると、241万1千円、率にして0.03%の微増で、収入額は、71億3千37万8千円、前年度と比較すると、9千838万1千円、率にして14%の増になります。

**市長** 平成23年度の国民健康保険税の徴収状況と現状について伺う。

**市長** 平成22年度、77.7%であったが、現年課税分が84%で、前年度比6.3ポイントの増、滞納繰越分が12.5%で、前年度比0.8ポイントの減となっています。

今現在の組織を改編して、徴収強化に取り組み体制を取るべきと思うが、他市でも導入されてきている公金徴収一元化に向けて、本市の考え方について伺う。

**市長** 市の財源確保、市民に対する公平・公正を図る上で、公金徴収の一元化の有効性は認識しているが、まずは市税の確保に努めるべきと考えています。

## 地域防災力の強化

**問** 本市地域防災計画の策定作業の進捗状況は如何か。

**市長** 大規模災害発生時に、応急対策の中心的な役割を担う災害対策本部の組織構成及び役割分担が概ねまとまったので、今後、庁内各課及び関係機関と意見交換を行い、修正計画内容の確認を行っていきます。その後、計画修正は防災会議によることとなります。パブリックコメントにより市民の方々の

意見も拝聴する予定です。本市でも消防団員の減少が続いている現状の中、機能別消防団制度の発足に向けての考え方について伺う。

**市長** は、さまざまな角度から取り組む必要があると考えており、機能別消防団も団員確保の1つの方策と考えるが、現有の消防団組織との関係も含め、十分検討する必要がありますので、研究してまいります。

**市長** 八街市へ県が進める総合防災拠点誘致の現状について伺う。

**市長** 本市では現時点では市有地等具体的な候補地は有していないものの、県北部のほぼ中央に位置し、交通アクセスに優れていること、また災害に強い地域であるので、本市への設置が具体化されれば、民有地の活用について積極的に協力する旨の資料を提出することを示したところで

# 安全で安心な街づくり

個人質問

誠和会 木村 利晴



## 教育問題

**問** 子どもたちの命の安全安心について、八街市内の小中学校での「いじめ」問題における現状とその対策を伺う。

**教育長** 教育委員会では各小中学校に毎学期、いじめ調査を実施しています。一学期末の調査結果は、小学校においては、冷やかしからいじめ11件、持ち物隠し4件、仲間外れ、集団による無視3件、暴力をふるう6件などであり、中学校においては、言葉での脅しが32件、持ち物隠し8件、仲間外れ・集団による無視が10件、ブログ・プロフ・ホームページ・掲示板による誹謗・中傷6件、暴力をふるう25件、たかり2件というものが主な態様でした。いじめの問題の重大性を全教職員が認識し、日々、児童・生徒が発する危険信号を見逃さず、的確に対応できる

よう努めます。各学校が行う具体的な対応について、二つ目、市内統一のいじめアンケートを実施し、調査を今後も継続して行う。二つ目、学校等における相談機能を充実し、児童・生徒の悩みを積極的に受け止めることができる体制の整備に努める。三つ目、いじている児童・生徒に関しては、関係機関との連携を含め、毅然とした指導を行う。この3点を確認しています。

9月3日の始業式でいじめ撲滅アピールを行い、いじめを「やめる勇氣」「とめる勇氣」「はなす勇氣」「認める勇氣」の4つの勇氣を校長が児童・生徒に話しました。これを契機に、全校児童・生徒が自らいじめをしない・させない・許さない、学級や学年、そして学校を目指します。

両の進入禁止規制について伺う。

**市長** 八街市の通学路は、歩道の未整備箇所が多く、早急な対応が必要と考えており、市道17013号線において

歩行者の安全を図る際に、進入車両の規制を行うことは有効な手段と考え、今後、このような道路については、進入車両に対し看板等での周知を徹底するなどしたいと考えています。

**問** 市道211号線側溝部分に歩廊を設置する件について伺う。

**市長** ご指摘の箇所については、路肩部分に側溝が設置されていますが、その側溝が車道より低い位置に設置されており、蓋もかかっていることから歩廊にこだわらず、この部分を歩行者の通行部分として有効活用する方向で検討

## 歩道のない通学路問題

**問** 市道17013号線におけるトラック車

日常生活自立支援事業と  
家庭教育の充実について

個人質問

誠和会 小山 栄治



個人質問

未来をつくる子どもたちのために

誠和会 小菅 耕二



安心して生活  
出来る街づくり

**問** 平成27年度までに  
各市町村に移管され  
る予定の、日常生活自立支  
援事業を市はどのように進  
める考えか。

**市長** 日常生活自立支  
援事業は、在宅で  
日常生活を送る上で十分な  
判断ができない方や、体の  
自由がきかない方が地域で  
安心して生活出来るよう、  
支援する福祉サービスです。

佐倉市社会福祉協議会が  
所管している成田市を除く  
印旛管内の市町村全体の利  
用者数は、平成23年10月31  
日現在で75人で、このうち  
佐倉市が33人、本市が15人  
となっています。本市とし  
ては、高齢化や核家族化の  
進展に伴い、このサービス  
の利用者は増加していくと  
考えており、利用者の状況  
や業務量を把握した上で、  
市社会福祉協議会に対する  
必要な支援を検討してい  
きたい。

**再質問** 本市において、  
何年頃から始めら  
れる予定なのか。

**市民部長** 本市におい  
ては、社会福  
祉協議会とも協議をし、出  
来れば平成26年4月から移  
管の方向で考えている。

心の豊かさを  
感じる街づくり

**問** 家庭教育充実の現  
状と推進についてど  
う取り組む計画か伺う。

**教育長** 家庭教育につい  
ては、家庭教育学  
級を市立幼稚園、小中学校  
に各1学級合計15学級を開  
設し、家庭における教育力  
向上のための学習や、保護者  
同士の情報交換を行ってい  
る。必要に応じて学級主事  
である教頭や家庭教育指導  
員の指導助言を行っている。  
その他に家庭教育は教育の  
原点である事を再認識して  
もらう為、家庭教育講演会  
を開催している。教育委員  
会としては、家庭教育の重  
要性を十分認識しており、

家庭教育学級や講演会等に  
参加出来ない保護者にも、  
家庭教育の大切さを理解し  
てもらう為のリーフレット  
やチラシを作成し、各家庭  
に配布している。今後も一  
層の充実を図る為に、学校  
行事と連動するなど保護者  
が参加しやすい方法を検討  
したい。

子育て支援について

**問** 就学前児童の教育・  
保育の充実について現  
状での取り組みは。また、  
今後の課題や取り組みの方  
向はどうか。

**市長** 待機児童が年々  
増加しているほか、  
市民の方の潜在的な保育需  
要は引き続き高いものと推  
測しています。(仮称)開拓  
保育園の施設整備事業を現  
在すすめているところで、こ  
のことが保育園待機児童解  
消の一役を担ってくれるもの  
と期待しています。

子育てに伴う経済的  
負担軽減、及びひとり  
親家庭に対する支援の現状  
は。また、今後の課題や取  
り組みの方向はどうか。  
**市長** 中学校3年生  
までの児童を監護  
している保護者等に対して、  
児童手当を支給しており、  
ゼロ歳から小学校3年生ま  
では「こども医療費助成制  
度」、八街市独自の事業と  
して平成23年度より助成対

象児童を中学校3年生まで  
に拡大した「児童医療費助  
成制度」、ひとり親家庭には  
「児童扶養手当」を支給し、  
また、「八街市ひとり親家  
庭等医療費等助成制度」を  
実施しています。

**問** ややもすると孤立し  
がちな子育て家庭の負  
担を軽減するために、乳幼  
児を持つ親と子供が気軽に  
集い、打ち解けた雰囲気  
の中で語り合いながら交流を  
図り、児童相談等を受けら  
れる場の充実を望むが、現  
状での取り組みは。また、  
今後の課題や取り組みの方  
向はどうか。

**市長** 「実住保育園」と  
「風の村保育園八  
街」に子育て支援センタ  
ーを併設し、催し物や育児相  
談を行い、他の保育園や公  
立幼稚園では園庭を開放し  
ています。また、助産師・  
保健師・赤ちゃん訪問員に  
よる新生児訪問事業や育児  
児童相談を実施しています。  
現時点では市単独での新た  
な事業を実施することは非

常に難しいです。  
地域全体で子どもた  
ちの成長を支え、安心  
して子どもを生み、喜びと  
責任を持って子育てができ  
る環境づくりに向けて、ど  
のように捉えて進めようと  
しているのか。

**市長** 「八街市次世代  
育成支援行動計  
画」を策定し、「子どもが  
いつも輝いて明るく健やか  
に育つ街」の実現に向けて、  
市民と行政が連携し地域を  
あげて子育て支援する街づ  
くりに努めています。

道路整備

**問** 八街バイパスの現状  
を伺う。

**市長** 県道成東酒々井  
線の大木地先から、  
主要地方道千葉八街横芝線  
までの全体では、用地買取  
率は、面積ベースで約91%  
になります。早期完成に向  
け、引き続き県に協力して  
いきたいと考えています。

市議会だより | 平成24年(2012年) 11月1日

安心安全で活力ある街づくり

個人質問

誠和会 鈴木 広美



暮らしやすいまちづくりと産業振興について

個人質問

誠和会 長谷川 健介



道路標識の設置

問 平成25年4月頃から酒々井インターやアウトレットモールが、開通、開業する中で、交通量の増加や更なる渋滞、交通事故の増加につながっているとあります。市道において標識規制をかけてある路線の現状について伺う。

答 近年市内で新たな交通規制が実施された実績はありませんが、今年度、東小学校北側、市道一区39号線ナイス理容からおがわ動物病院の間を速度規制、市道六区1号線平川商会前丁路地から国道409号木原人口交差点の間を大型車両の進入規制が実施されると県警察本部交通規制課から伺っています。

市長

今後、交通量の増加が予想される路線の規制に対する標識の設置について伺う。

答 交差点処理能力の向上を千葉県に要望してきましたが、道路

市長

改良等には、地権者の協力、多額の費用、長い時間を要することから実現には至っていません。しかし、対策が急務となつていて、当面の暫定的な対策として、時差式信号等を用いた緩和措置を本年8月28日付けで、千葉県警察本部長宛てに要望しています。

道路整備について

問 市道211号線、212号線の道路愛称についてその後の展開は、市道の愛称について伺う。

答 212号線の道路愛称については、平成24年3月議会で答弁させていただきましたが、市としては、現段階では愛称をつける予定はありませんが、市民の要望の高まり等を見極めながら、愛称を付ける際にはご指摘の路線だけでなく、他の路線等も含め選定要綱や選考委員の人選等、手続き上の方法等も十分検討したいと考えています。

市長

市として、千城台経由、貝塚インターから高速道路に乗り入れるのではなく、佐倉インターから乗り入れることが出来ないか、バス会社に要請しているところです。

市長

高速バスを利用して八街駅よりアウトレットモール、成田空港などを含む路線の組み替えやJR八街駅よりアウトレットモールへの直通バスの運行の考えを伺う。

答 今年7月に教育委員会が主体となり、関係課、警察、各小学校等を含めた市内各小学校の通学路の現地診断を実施しました。現在、診断結果をもとに関係機関が対策の実施について検討を行っています。

公共交通バスの運行

問 平成25年の酒々井インターの開通やアウトレットモールの開業に際し、高速バス、ふれあいバスの増便、時間、コース見

直しやバス会社への交渉などを行い、公共交通バスの利便性を高めて行くべきだと考えます。高速バスの利用状況について伺う。

市長

アウトレットモールの運行ですが、新たな路線の運行は、バス会社の採算性を考慮した判断によることですので、市としては、アウトレット開業後の必要性など、動向を見守りたいと考えています。

市長

改正以降、乗り継ぎが不便や待ち時間の短縮などの意見を踏まえ、運行時間や接続時間、経路、ダイヤの一部改正に向け、年内を目途に準備作業を進めているところです。また、今年度公共交通関係者や利用者・市民の代表者からなる「八街市地域公共交通協議会」を設置し将来に向けた持続可能な市の公共交通のあり方について検討したいと考えています。

ふれあいバス運行について

問 路線、ダイヤ改正後の現状と今後の課題について伺う。

答 改正以降、乗り継ぎが不便や待ち時間の短縮などの意見を踏まえ、運行時間や接続時間、経路、ダイヤの一部改正に向け、年内を目途に準備作業を進めているところです。また、今年度公共交通関係者や利用者・市民の代表者からなる「八街市地域公共交通協議会」を設置し将来に向けた持続可能な市の公共交通のあり方について検討したいと考えています。

市長

市として、千城台経由、貝塚インターから高速道路に乗り入れるのではなく、佐倉インターから乗り入れることが出来ないか、バス会社に要請しているところです。

市長

高速バスを利用して八街駅よりアウトレットモール、成田空港などを含む路線の組み替えやJR八街駅よりアウトレットモールへの直通バスの運行の考えを伺う。

市長

アウトレットモールの運行ですが、新たな路線の運行は、バス会社の採算性を考慮した判断によることですので、市としては、アウトレット開業後の必要性など、動向を見守りたいと考えています。

ふれあいバス運行について

問 路線、ダイヤ改正後の現状と今後の課題について伺う。

答 改正以降、乗り継ぎが不便や待ち時間の短縮などの意見を踏まえ、運行時間や接続時間、経路、ダイヤの一部改正に向け、年内を目途に準備作業を進めているところです。また、今年度公共交通関係者や利用者・市民の代表者からなる「八街市地域公共交通協議会」を設置し将来に向けた持続可能な市の公共交通のあり方について検討したいと考えています。

市長

改正以降、乗り継ぎが不便や待ち時間の短縮などの意見を踏まえ、運行時間や接続時間、経路、ダイヤの一部改正に向け、年内を目途に準備作業を進めているところです。また、今年度公共交通関係者や利用者・市民の代表者からなる「八街市地域公共交通協議会」を設置し将来に向けた持続可能な市の公共交通のあり方について検討したいと考えています。

本市のPRについて

問 来春オープンする酒々井アウトレットモールを活用した具体的な広報活動の展開について伺う。

答 パンフレットを紹介するパンフレットの具体的な内容について伺う。

市長

アウトレットモールの運営する会社である「チエルシージャパン」と協議しましたが、施設内

再質問

市を紹介するパンフレットの具体的な内容について伺う。

答 パンフレットを紹介するパンフレットの具体的な内容について伺う。

再質問

市を紹介するパンフレットの具体的な内容について伺う。

答 パンフレットを紹介するパンフレットの具体的な内容について伺う。



▲市道211号線に愛称を



▲利用しやすいバスに

個人質問

空き家条例や環境問題  
ミストシャワー設置について

公明党 新宅 雅子



環境問題について

問 2008年に総務省が行った住宅土地統計調査によれば、空き家の数は全国で約757万戸。20年間間で倍増、空き家率は住宅全体の約13%に上っている」とあります。管理不全な状態により、周囲に多大な迷惑を及ぼしている場合に対処し、市民の住環境を守るために、空き家条例の制定を求めるが如何か。

答 八街市では、細かく分別収集し、可燃ごみと再利用できる紙を分別して回収したり、廃油も第2水曜日環境課に持ち込めば、有価物となり、バイオディーゼルに変換されています。雑紙・廃油の適正処理、リサイクルの量を増やすために、市民の周知がさらに必要と考えるが、考えを伺う。

市長 本市では既に小型電を分別収集し、リサイクルを行っておりますが、同法律の施行令に基づき適正に対応してまいります。

教育問題について

問 近年、細かい霧を大気中に噴霧して、蒸発による気化熱で周辺の空気を下げる、ミストシャワーが注目を集めています。猛暑対策として、幼稚園・小中学校での暑さを軽減し、子どもたちの生活環境を守るミストシャワーの設置を求めるが如何か。

市長 廃油回収につきましては、毎月1回行っている収集回数を増やすことや、八街市中央公民館のような市民が利用します社会教育施設を回収拠点として増やすなど検討してまいります。

教育長 ミストシャワーの設置につきましては、不要である事、少ない水道料金である事、設置費用が低コストである等の利点があり、猛暑対策として有効であると聞いております。今後、ミストシャワーの活用方法を各施設に情報提供してまいりたいと考えております。

個人質問

いじめ問題や子育て施策について

公明党 服部 雅恵



いじめ防止について

問 八街市の子どもからは、いじめの子もいじめられる子も、そしていじめを傍観する子を一人も出さないとの強い決意のもとでの取り組みが求められます。そこで、いじめ根絶に向けた本市の取り組みについて伺う。

教育長 いじめは、どの学校でも、どの子どもにも起こり得る問題であることを十分認識し、未然防止に努めるとともに、日頃から児童・生徒が発する危険信号を見逃さず、いじめの早期発見に努めてまいります。また、学校等における相談機能を充実し、児童・生徒の悩みを積極的に受け止めることができるように致します。

教育長 八街市では、幼小中高連携教育に取り組んできております。今後も連携教育推進の中で、それぞれの学校が児童・生徒の豊かな心を育みながら、家庭教育力や地域教育力の向上を目指し、いじめ撲滅にも取り組んでまいります。したがって、現在のところ、いじめ防止条例の制定につきましては考えておりません。

教育長 子育て支援については各市立幼稚園では、現在、放課後や長期休業中に園庭開放を行い、時間外の幼稚園施設の開放に取り組んでいるところであります。

教育長 時間外保育は教育課程に係る教育活動の終了後に行う保育ですので、幼稚園教育の基本を踏まえ、検討していくことが重要と考えます。幼児への負担や家庭、地域生活への配慮、保護者との連携等に留意していくことはもちろん、人的配置の考慮も必要と考えます。今後も保護者や地域の声を聞きながら、検討を行ってまいります。

子育て支援について

問 子育て支援策の、市立幼稚園の時間外保育について伺います。

答 働くお母さんが増えていく今、少子化対策の上で仕事と子育ての両立を希望する全ての女性が安心して生

市長

平成20年に国が実施しました住宅土地統計調査によりますと、八街市の総住宅戸数は2万8千370戸のうち、空き家はアパートなどの賃貸住宅を含め3千660戸ございました。ご指摘の空き家条例につきましては、全国で54市区町が制定しており、防犯、火災、美観の観点などから、今後、先進地の事例等を踏まえまして、検討してまいりたいと考えております。

市長 ましては、毎月1回行っている収集回数を増やすことや、八街市中央公民館のような市民が利用します社会教育施設を回収拠点として増やすなど検討してまいります。

問 今年の8月3日、使用済小型電子機器等再資源化促進法が成立しました。これは不要になった携帯電話やデジタルカメラなどから、レアメタルなどの有用金属を利用しようという法律です。そこで、本市の推進策を伺う。

市長 本市では既に小型電を分別収集し、リサイクルを行っておりますが、同法律の施行令に基づき適正に対応してまいります。

市長 必要である事、少ない水道料金である事、設置費用が低コストである等の利点があり、猛暑対策として有効であると聞いております。今後、ミストシャワーの活用方法を各施設に情報提供してまいりたいと考えております。

災害・防災・危機管理

個人質問

やちまた21

加藤

弘



防災意識

問 防災意識の向上と危機管理は。

市長

広報やちまた9月1日号で「自分の身は自分で守る」ことを基本に災害に対する心構えを呼びかけました。また、防災フェアにおいて、消防組合とともに、防災グッズの配布などを通して防災意識向上のため啓発に努めており、災害に対する予防、危機管理体制の確立は非常に重要なことであると認識しています。火災予防は、住宅用火災警報器の設置が義務化され、消火器も設置が進められています。春・秋の火災予防週間にあつては、消防署、消防団において啓発活動を行い、市民に火災予防についての意識の高揚を図っています。地震や風水害対策は、地域防災計画の中で震災対策編、風水害対策編として具体的な対応策を定めているところで、現在その修正作業を行っています。

問

災害時要援護者等の安全確保は。

市長

要援護者の避難誘導や安否の確認

避難所等での生活支援を的確に行うには、要支援者情報の把握と避難支援者関係機関での情報の共有が必要です。高齢者世帯は、地区の民生委員が把握し、市役所福祉課へ提出されている、ひとり暮らし福祉票、高齢者世帯福祉票があります。民生委員の方々が把握していない、ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯の掘り起こしとしては、今後、広報紙等を利用し、高齢者本人から情報を得て災害時の安全確保に努めたいと考えています。また、障がい者も、障がいに係る手帳の情報や福祉サービス利用に係る情報などにより、要援護者の把握に努めるとともに、障がい者団体等との連携を図りながら安全確保のための体制整備に努めたいと考えています。

問

避難場所の非常時の体制は。

市長

避難所付近に居住する職員をあらかじめ定めておき、直接現場に駆け付け、速やかに避難所が開設されるような体制づくりに向けて準備を進めています。

問

帰宅困難者の対策は。

市長

東日本大震災の際には、八街中学校武道場を避難場所として開設しました。なお、本年7月に学校法人千葉黎明学園のご好意により災害時における避難所施設利用に関する協定を締結していただ

いたところですので、帰宅困難者の対策としての利用も可能であると考えています。

※その他の質問

- ◆建築物の耐震化
- ◆職員の緊急招集
- ◆停電時の通信体制
- ◆保健衛生・防疫の対策
- ◆社会福祉協議会等と連携
- ◆児童生徒の安全対策

個人質問

安心の医療と国保行政を

日本共産党

京増藤江



全世帯に国民健康保険証の交付を

問

市は、国保税を払いたくても払いきれない市民に対して、差し押さえなどの徴収強化をしているが、国保税を引き下げ、資格証明書の交付を中止し、全世帯に保険証の交付を求めるが如何か。

市長

国民健康保険は自営業者や無職者等の方が対象であり、高齢化や景気の低迷により、財政力が弱く国保加入者の負担は重い。資格証は審査会で当該年度の交付基準を決めている。

再質問

資格証明書を発行した世帯を訪問し、事情を聞いた上で交付となったのか。

国保年金課長

226

世帯すべてに会えたかどうかは確認していません。

再質問

資格証明書は、病院の窓口で医療費の10割を負担する。国保

税を払えない人が医療費10割を支払うのは難しい。このような世帯に面談もせず資格証明書を発行することとはあまりにも冷たい。資格証明書を交付しない自治体もある。八街市は、子ども医療費を他市に先駆けて無料化した。資格証明書が交付されている世帯にたいしても同じような温かさで、面談をしていくことを求めるが如何か。

国保年金課長

資格証明書交付世帯と滞留世帯の合計約850世帯に保険証が渡っていない。短期保険者については窓口に来ていただくよう通知を出しているが、今後、極力全世帯を回れるよう努力したい。

公共交通の充実を

問

地域の公共交通協議会の公募はわずか2人であり、地域ごとの交通弱者の声を聞けるか疑問である。また、利用しやすいデマンドタクシーの導入を求めるが如何か。

市長

本市の公共交通の洗い出しや将来的な公共交通の方向性等を検討し、デマンド交通に対しても、利便性の向上等、協議会の結果をふまえて市としての方向性を示したい。

個人質問

防災体制の強化は市政の急務

日本共産党

丸山

わき子



耐震化への取り組みについて

問

市の耐震改修促進計画では、東京湾北部地震の被害想定で、木造建築物の被害は約一千棟とし、耐震化の必要な家屋2千270戸のうち約半分が被害に遭うことを明らかにしており、対策は重要である。市は耐震診断・耐震改修の補助金制度をスタートさせているが、利用状況を伺う。また、耐震改修を促進するために補助金の増額を求めるが如何か。

市長

利用件数は、現在3件です。補助金の増額については考えておりません。

問

市有施設の安全確保について伺う。  
第2庁舎はS値0.4であり、災害時の拠点施設としての役割を果たすために早急な安全対策を求めるが如何か。また、避難所マップに住野公民館が掲載されているが、昭和33年の建築で

老朽化しており、避難所として適切なものか。

市長

第2庁舎は、検討している。また、旧住野分館は地元地区に対し、市の補助制度等を利用して建設の提言等について検討したい。

いじめのない学校づくりを

問

八街市の5年間のいじめの実態を伺う。

教育長

小学校は、平成19年度70件、23年度100件を超え、中学校では、平成19年度100件、23年度300件台と推移しています。

再質問

5年間のいじめの解決率は小学校では77%、中学校では69%であり、なぜ解決できなかったかというのをいま一度、見る必要がある。いじめの解決の道は、教職員と子ども自身が問題を解決する能力をいかに高めていくかであり、専門職員の配置で、ゆとりある教育環境をつくる

ことが必要であると思うが如何か。

教育長

文部科学省は人的な支援を考えるとのことです。市としては積極的の手を挙げて、人的配置を受けられるよう努力したい。

子ども・若者の育成支援について

問

全国のひきこもりは約70万人。ニートは63万人で、不登校だった生徒がニート・ひきこもりになる確率は約7倍にもなっている。不登校の多い八街市では、在学中の不登校児童・生徒への取り組みとともに、卒業後の支援強化は切実な問題となっている。ひきこもり・不登校・若者などからの悩みに対応する総合的な相談窓口・若者サポートステーションの設置を求めるが如何か。

教育長

総合的な観点から調査・研究をしたい。

＊北総地区市議会議員研修会に参加＊



10月19日に北総管内11市の議員研修会が成田市で開催され八街市議会から18名の議員が参加しました。  
講師には、専修大学法学部教授の小林弘和先生をお招きして「地方議会の活性化」をテーマに講演いただきました。

★議長・副議長の出席報告★

【8月】

- 2日・印旛管内市議会正副議長連絡協議会定例会 (印西市)
- 3日・千葉県市議会議長会役員会 (千葉市)
- 4日・スポーツ少年団野球専門部納涼会
- 5日・消防団第十一分団消防車新車披露式
- 15日・「戦没者を追悼し平和を祈念する日」追悼式
- 19日・三世代スポーツ交流大会
- 25日・第二十一回八街ふれあい夏まつり開会式
- 27日・中学校総合体育大会等報告会
- 28日・八街を元気にする会(市内小中学校教職員情報交換会) (成田市)

【9月】

- 8日・コート・エミナース及びコスモ・ヴィレッジ 秋祭り
- 9日・八街市消防団長監製褒章受章祝賀会(成田市)
- 20日・タイムカプセル掘り起こし式
- 21日・意見書提出(千葉市)
- 30日・議長杯ソフトボール大会閉会式

【10月】

- 12日・ボランティア大会
- 14日・八街市ソフトボール大会開会式
- 15日・千葉県市議会議長会役員会(千葉市)
- 17日・消防組合議会定例会(佐倉市)
- 19日・北総地区市議会正副議長会議員研修会(成田市)
- 20日・八街市民剣道大会
- 21日・市民文化祭芸能部門発表会(民謡・舞踊・吟詠・尺八)
- 22日・千葉県市議会議長会定例会総会(千葉市)
- 28日・市民文化祭芸能部門発表会(カラオケ・マジック・合唱)
- 29日・印旛郡市負担金審議会(佐倉市)
- 印旛郡市広域市町村圏事務組合議会定例会(佐倉市)

9月定例会議案等処理結果一覧

○賛成 ×反対

議案番号	件名	議決年月日	結果	各会派の賛否					
				誠和	公明	21	共産	古	桜
議案第1号	固定資産評価審査委員会委員の補欠委員の選任について	平成24年9月 3日	承認	○	○	○	○	○	○
議案第2号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	平成24年9月 3日	同意	○	○	○	○	○	○
議案第3号	教育委員会委員の任命について	平成24年9月 3日	同意	○	○	○	○	○	○
議案第4号	市道路線の変更について	平成24年9月25日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第5号	市道路線の認定について	平成24年9月25日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第6号	平成24年度八街市一般会計補正予算について	平成24年9月25日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第7号	平成24年度八街市国民健康保険特別会計補正予算について	平成24年9月25日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第8号	平成24年度八街市介護保険特別会計補正予算について	平成24年9月25日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第9号	平成23年度八街市一般会計歳入歳出決算の認定について	—	継続審査	—	—	—	—	—	—
議案第10号	平成23年度八街市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	—	継続審査	—	—	—	—	—	—
議案第11号	平成23年度八街市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	—	継続審査	—	—	—	—	—	—
議案第12号	平成23年度八街市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	—	継続審査	—	—	—	—	—	—
議案第13号	平成23年度八街市学校給食センター事業特別会計歳入歳出決算の認定について	—	継続審査	—	—	—	—	—	—
議案第14号	平成23年度八街市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	—	継続審査	—	—	—	—	—	—
議案第15号	平成23年度八街市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	—	継続審査	—	—	—	—	—	—
議案第16号	千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	平成24年9月25日	原案可決	○	○	○	○	○	○
発議案第4号	富里特別支援学校過密化解消および整備に関する意見書の提出について	平成24年9月11日	原案可決	○	○	○	○	○	○

誠和(誠和会) …… 湯淺 祐徳、中田 眞司、小高 良則、山口 孝弘、林 修三、石井 孝昭、木村 利晴、小山 栄治、小菅 耕二、鈴木 広美、長谷川健介  
公明(公明党) …… 新宅 雅子、鯨井眞佐子、川上 雄次、服部 雅恵

21(やちまた21) …… 加藤 弘、林 政男  
共産(日本共産党) …… 丸山わき子、右山 正美、京増 藤江古 …… 古場 正春 桜 …… 桜田 秀雄



**議会改革  
検討協議会**

議会改革検討協議会を設置し、議会運営の効率化と機能の強化、そして情報公開の推進、透明性の確保など様々な議会改革、改善の取り組みを進めてまいります。

・委員長 林 修三議員  
・副委員長 新宅 雅子議員  
・委員 丸山わき子議員  
・委員 林 政男議員  
・委員 川上雄次議員  
・委員 小高良則議員  
・委員 山口孝弘議員  
・委員 石井孝昭議員  
・委員 小菅耕二議員

編集後記

市議会だよりNo.190号をお届けします。今号は平成24年9月定例会の内容を中心に編集しました。今定例会、代表・個人質問合わせ八街市議会始まって以来最多の19名が質問し活発な議論が繰り広げられました。また、市議会では「議会改革」に取り組んでいます。地方分権の時代を迎え、国主体から地方主体の行政への転換が始まる中、自治体議会として果たすべき役割を見つめなおし、実践するための改革ですが、進展状況は今後も出来るだけ紙面でお知らせして参ります。本紙が皆様と議会をつなぐ架け橋となるよう、分かりやすい紙面づくりを心がけて参りますので、引き続き市議会だよりをよろしくお願いたします。



(山口孝弘)

●議会だより編集委員会● 委員長/加藤 弘 副委員長/川上雄次 委員/京増藤江・古場正春・山口孝弘・林 修三・石井孝昭・小山栄治

※本紙にご意見等ございましたら「議会だより編集委員会」までお寄せ下さい。 TEL043(443)1482